



大成功だった年長さんの発表会

12月7日に年長さんの発表会がありました。どのクラスも素晴らしい劇で感動しました。

さくら組さんは、「からすのパン屋さん」という劇を演じました。このお話は、からすのパン屋さんのパンが森のからすたちの人気になっていくお話です。途中で「パン屋が焼けた」との連絡で消防車などが出動するのですが、「パンが焼けた」の間違いと分かります。最後の場面では、森のたくさんのからすたちが、からすのパン屋さんのパンを買っていくほのぼのとしたお話です。セリフを言う前や後には「かあーかあー」と鳴き声を出すことで、からすの森の雰囲気を出していました。



ゆり組さんは、「くものす親分とりものちょう」という劇を演じました。このお話は、十手持の親分とぴょん吉が、「ありがたや」の蔵からお菓子を盗む「かくればね兄弟」を捕えるお話です。「かくればね兄弟」が、羽の絵を背景の模様と同じにすることで、かくれるのですが、これを親分とぴょん吉が見破るところにこのお話の面白さがあります。ゆり組さんの衣装や昔ならではのセリフの言い回しで、まるで江戸の町を見るようにタイムスリップしているようでした。



うめ組さんは、「どろぼう学校」という劇を演じました。このお話は、どろぼう学校の様子がコミカルに描かれています。宿題が出される場面では、生徒たちがどろぼうしてきたものに対して、校長先生から「ばかもん」と叱られ、全員が

落第になります。遠足の場面では、校長先生と生徒たちは大金持ちの家に盗みに入りますが、実際に入った所が刑務所の牢屋だったところもお話の面白さです。校長先生と生徒たちとの楽しいやりとりが、この劇を盛り上げていました。



どのクラスも、子どもたちは自分の役になりきり、それぞれに気持ちを込めて自分のセリフを言ったり、手振りや身振りで雰囲気を出したりして、堂々と演じていました。そして、何よりもクラスのみんなで力を合わせて、この劇を完成させたところが素晴らしいと思いました。最後の合唱もみんなの心が一つになり、心に響く素晴らしい歌声を披露してくれました。

年長の保護者の皆様からは、子どもたちの演技や歌声にたくさんの温かい拍手をいただき、子どもたちも達成感を味わったことでしょう。年長の皆さんの確かな成長を感じる素晴らしい発表会になりました。

年少さんが「しいたけ」を試食

年少さんが、11月29日に「しいたけ」を試食しました。この「しいたけ」は、年少さんが「しいたけの栽培キッド」を育てていたものです。子どもたちはこの栽培キッドに毎日霧吹きで水をかけたり、「大きくなあれ」と応援したりしてお世話をしていました。「しいたけ」は、病気を予防したり、骨を強くしたりする働きがある食材です。バターと醤油で味付けをしておいしくいただきました。

